

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.7
Q1 室内環境			0.40					3.5
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.6	0.35	-	-			3.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式	床吹出し方式、空気式天井輻射方式、潜熱顕熱分離処理方式	5.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.9	0.25	-	-			3.9
3.1 昼光利用		4.6	0.30	-	-			
1 昼光率	2層吹抜により自然光を取り入れた設計	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	排煙窓を兼ねたハイサイドライト	4.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			
1 昼光制御	ブラインド・スクリーン・庇	4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度	全般照明方式、700lx以上	4.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮	給気は、各種排気口と異なる方位に設ける	4.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	建物内部は禁煙であり、喫煙スペースは屋外に設置してある	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.6
1 機能性		3.6	0.40	-	-			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	天井高2.7m以上及び開口部複数設置	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	自販機スペース・屋上テラス等多くのリフレッシュスペースの確保	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画	バース・照度シミュレーション等による検証実施	5.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	社員が容易に点検・維持管理できるよう計画	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	ゴミ(リサイクルスペース)の確保、窓の開口制限による安全性配慮	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	EP塗装による主な仕上	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.2	0.20	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	4.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	-
耐震クラスA							
3 対応性・更新性			4.1	0.30	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり			5.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	3.0	-	-
階高3.95m以上 壁長さ比率0.2497							
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	-
事務所積載荷重4,900N/m ²							
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			4.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
構造部材と十分離隔を取ったPSの計画							
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			4.0	0.30	-	-	4.0
各階バルコニーや屋上に緑地を確保し、緑豊かな職場環境を創出							
2 まちなみ・景観への配慮			5.0	0.40	-	-	5.0
隣接建物との高さ・色合調整及び建物随所に緑地創出							
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.0	0.20	-	-	4.0
高性能low-eガラスの利用							
2 自然エネルギー利用			4.0	0.10	-	-	4.0
自然換気、吹抜け部重力差による熱だまり処理、吹抜け部の熱回収再利用							
3 設備システムの高効率化			4.0	0.50	-	-	4.0
BEIm 非住宅 0.73 住宅(専有部) 0.83							
集合住宅以外の評価(3a.3b)			4.0	1.00	-	-	-
BEIm=0.73							
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	-
節水型衛生器具の採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-	-
OAフロアの利用							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
高性能Low-EガラスやDESICAなどエネルギー消費の少ないよう計画							
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-
歩道を整備し歩車分離の取り組みを行い、自動車等が通行しやすいように整理した							
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	-
1 騒音			-	-	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.3	0.67	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			4.0	0.30	-	-	-
大きな工場内中心に位置するため影響なし							
3.3 光害の抑制			3.7	0.33	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-
ルーバーによる室内光源漏れの抑制							